



第17回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2018年9月27日（木）15:00～18:00

会場：ナレッジキャピタル カンファレンスルーム (C01)
(グランフロント大阪 タワーC 8階)

地図：<https://www.kc-space.jp/accessmap/conference/towerc.html#jump>

参加費：無料（交流会：1,000円）

主催：NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議・公益財団法人 都市活力研究所

共催：NPO法人 バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会

講演 I 15:00-16:00

「ウイルス感染に対する宿主核内システムの応答機構」

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター

感染病態制御ワクチンプロジェクト プロジェクトリーダー 今井 由美子

ウイルスは宿主因子を利用・略奪して増殖します。インフルエンザウイルスはRNAウイルスですが、宿主の核内でウイルスゲノムの転写・複製を行うので、宿主の核内システムはインフルエンザウイルスの増殖やウイルス感染症の病態形成に重要な役割を担っていると考えられます。私たちは、核内のRNA輸送やエピゲノム応答に焦点を当てた研究を行っています。今回私共の最近の研究をご紹介します。これらを基にした創薬の可能性について言及させていただきたいと思っております。

講演Ⅱ 16:00-17:00

「体内時計メカニズムと調節機構」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター

バイオメディカル研究部門 副部門長 副研究部門長 大西 芳秋

時計遺伝子により調節されている体内時計は、生物の活動や生理機能の調節維持に必須である。生物行動が遺伝子調節される現象として発見され、様々な疾患との関連性も明らかとなった事もあり、体内時計の発見が今年のノーベル医学生理学賞を受賞した。本講演では、体内時計メカニズムを概説するとともに時計遺伝子の転写調節機構の解明とその応用を中心とした我々の研究成果を紹介したい。

17:00-18:00 交流会・名刺交換会

申込先：参加希望者は2018年9月26日（水）までに、公益財団法人都市活力研究所のWEBサイトからお申込みください。ただし、定員（75名）に達し次第、締め切らせていただきます。

URL：<http://www.urban-ii.or.jp/>

問合先：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（梅村、松村、大嶋）
公益財団法人都市活力研究所 電話：06-6359-1322（味村、池田）